岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　清水川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R3-Bor.No.5	調査位置	広島県福山市鞆町後地（副堰堤中央部）	北緯	34° 22′ 45.7470″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年10月15日～ 令和3年10月21日	東経	133° 22′ 24.5590″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 30.65m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM製YSO-1型	
総削孔長	10.00m	エンジン	ヤンマー(株)製TF120VE型	ポンプ	YBM製SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
1				礫混じり砂	褐茶～茶褐						
2											
3											
4	25.85	4.80									
5	25.65	5.00		玉石	暗青灰						
6	24.05	6.60		粘土混じり砂礫	淡青灰～淡茶灰						
7				風化流紋岩	淡青灰～淡灰	w4	h2	D	VI	d	DM
8	22.29	8.36									
9				風化流紋岩	褐灰～淡茶灰	w3	h3		V	c	DH
							h2	E	VI	d	DM
10	20.65	10.00						D	V	c	DH
11											
12											
13											
14											
15											

コア採取率 ―×― (%)　最大コア長 ―●― cm　RQD ―― [%]

記事

- 調査地において比較的新しい時期の土石流堆積層。砂は細～粗砂混在。深度方向に粗砂優勢となる。φ3～50mmの亜角～亜円礫を全体に含む。部分的に礫状及び砂状の箇所を挟む。GL-4.60～4.80m，暗灰色で少量の粘土を含む。
- φ20cmの硬質な流紋岩質玉石。
- 調査地において古い時期の土石流堆積層。礫はφ3～30mmの亜角～亜円礫。砂は細～粗砂混在。全体に10%程度の粘土を含む。部分的に砂状もしくは礫状箇所あり。
- DM級の風化した流紋岩質凝灰角礫岩。風化により含有する角礫部が粗砂状を呈す箇所あり。全体的に湿潤している。
- DH～CL級の風化した流紋岩質凝灰角礫岩。局所的にφ5～10mmの亜角礫状箇所あり。GL-8.50～9.00m間，岩片状。GL-9.00～9.70m間，粗砂～礫状。

孔内水位／測定月日：10/15 無し；10/19 1.95；10/20 2.90；3.40

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
17	1.15	17		
	1.45	300		
8	2.15	8		
	2.45	300		
15	3.15	15		
	3.45	300		
7	4.15	7		
	4.45	300		
47	5.15	47		
	5.45	300		
50以上	6.05	50	180	
	6.23	180		
35	7.15	35		
	7.45	300		
50以上	8.15	50	210	
	8.30	210		
50以上	9.00	50	40	
	9.04	40		
50以上	10.00	50	70	
	10.07	70		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/15	15	66／ケーシング	シングル／ソフト	0	60			
	71		打込み／打込みシュー	0	0	0	0	0
10/19			ダブル／ソフト	0	70	1	3/7	7
	43		打込み／打込みシュー	0	0	0	0	0
			ダブル／ソフト	0	60	2	3/8	8
10/20			ダブル／ソフト	0	85	2	3/9	9
10/21	15	66	ダブル／ソフト	0	85	2	3/9	9